

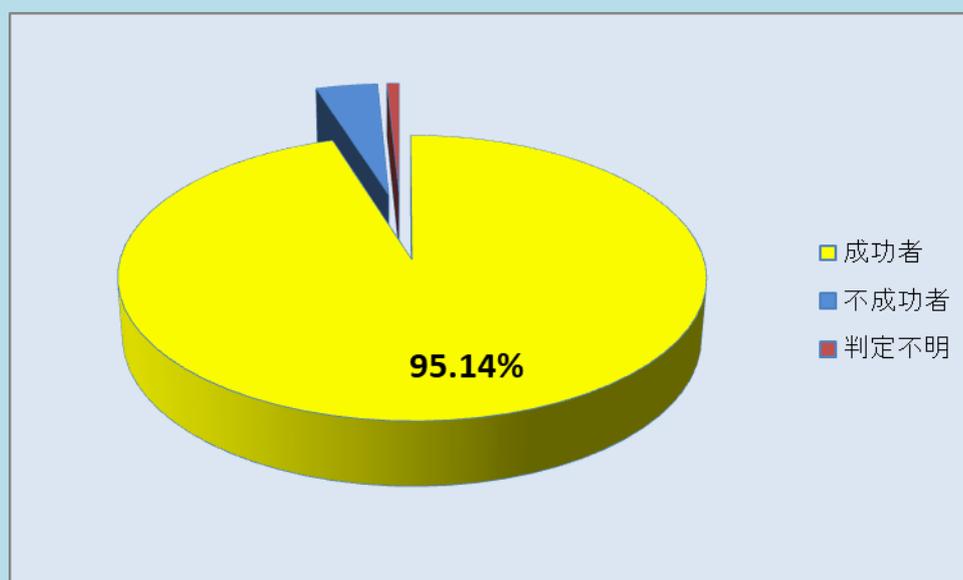
当院におけるピロリ菌の受診者

(2017年2月～2018年2月)

はじめに

酸関連疾患治療剤であるボノプラザンは、酸分泌抑制の作用発現が速く、ピロリ菌の除菌率が高いとされている。当院においても全国的な変化と同様に、一次除菌率が低下していたが、2015年7月よりボノプラザンを採用して、昨年の一次除菌率は急激に上昇した。2017年2月から2018年2月までの受診者の集計と一次除菌率を求め、その推移をおった。

一次除菌者数 : 247名
除菌成功者数 : 235名
除菌不成功者数 : 10名



92.71%の患者さんにボノプラザンが使用されていた。

一次除菌率は95.14%と昨年とほぼ同様であり、非常に高い除菌率であった。

下痢や蕁麻疹などの副作用の頻度は、これまでより低いように思われた。

今後も高い除菌率の維持が期待される。

日本ヘリコバクター学会認定医 桂田純二郎